

計画的な親族継承で老舗の暖簾を次代へ繋ぐ

京都中央卸売市場に店を構え、長年にわたって京漬物の製造卸を営んできた丸漬の加勢克己さん。本社の移転を機に、他社で働いていた長男を会社に招き入れ、計画的な事業承継を実施。80歳を迎えた節目に引継ぎが完了し、会社は新たな一歩を踏み出している。

株式会社丸漬 代表取締役会長 加勢 克己 氏

後継者の負担を軽減し 安心して事業を引継げる環境づくり



創業80年余り、産地から直接仕入れた旬の野菜を使った、高品質で安全・安心、おいしい漬物を作り続けてきた。今も昔も変わらない京の味を求めて、多くのお客様がお店を訪れる。

加勢さんが事業承継について考えるようになったのは74歳のとき。店を構えていた

京都中央卸売市場が全面的に改修されることになり、そのタイミングに合わせて市場の外へ本社移転を決断したことが大きなきっかけとなった。当時、息子の智啓さんは他の会社で営業部長として働き、家業を継ぐ予定はなかったが、「どうすれば息子をその気にさせられるのか？ 自社の価値や魅力を伝えられるのか？」を真剣に考えるようになったと話す。

新社屋の建設には大きな設備投資が必要だが、「後継者の負担をできるだけ軽くしたい」という思いから、金融機関の協力を得て、これまでの信頼と実績をもとに、経営者の債務保証なしでの資金調達を進めた。また、建物の上棟式や竣工式など大事な節目に智啓さんを呼び寄せ、会社の経営状況や将来ビジョンなどを話し合う機会を設けたという。

2017年、4代目の後継者候補として36歳で智啓さんが入社。「本社移転を完了するまでに息子に戻ってきてもらうという目標を立てることで、次にどんな準備をすべきかという道筋が明確になった」と加勢さんは振り返る。

4年をかけた後継者教育で 従業員や取引先の信頼を獲得する

当初、経験のない後継者候補が社内で受け入れられるのか…という不安もあったが、朝早く出勤し、トイレ掃除などを粛々とこなす智啓さんの真摯な姿を見て、これなら会社を任せられると確信した。早速、分散していた株式の集約を始めたほか、従業員や取引先に向けて親族承継の意思を明らかにすることで、「会社の将来に対する期待感が広がった」という。

入社から4年経った2021年、智啓さんは40歳で代表取締役社長に、加勢さんは代表取締役会長に就任した。コロナ禍という厳しい環境下だったが、「80歳になった区切りの年に後継者に譲ると決めていた」ことから、周囲の理解も得られスムーズなバトンタッチにつながったという。現在、会社の経営は新社長に任せ、加勢さんはサポート役に徹している。そこには、親族承継ならではの大きな信頼の絆があるようだ。

事業承継という一生に一度の取り組みを終え、新たなスタートを切った丸漬。市場にほど近い本社には、作りたての漬物を購入できるショールームも併設され、伝統製法に現代感覚を加えた新商品が次々と生まれるなど、私たちの食卓に豊かな味わいを提供してくれる。



※2021年7月29日開催「親族への事業承継セミナー」より内容を作成

株式会社丸漬

DATA

代表取締役社長 | 加勢 智啓
所在地 | 京都市下京区朱雀北ノ口町33
電話 | 075-312-6428
事業内容 | 漬物の製造卸販売
<https://kyoto-marutsuke.co.jp/>

ひとこと Message



京都府事業承継・
引継ぎ支援センター
承継コーディネーター・
統括責任者補佐
寺田 正博

今回の事例では、本社移転をきっかけに親族承継を意識した取り組みで円滑なバトンタッチができました。事業承継は今日、明日にすぐに実現できません。後継者の選定や育成、経営資源の引継ぎ、周囲への理解など、事前にすべきことが数多くあります。円滑な事業承継をするには、いつ、何をすべきかを後継者と一緒に確認できる事業承継計画書の作成をお勧めします。

無料

専門家派遣
謝金・交通費

親族

への承継を
考えている皆様!



事業承継計画作成に向けた 専門家派遣

経営をバトンタッチしても、明日からすぐに社長業が務まるわけではありません。
まずは社長の“考え”を見える化した**事業承継計画**を策定し、
何年後に何をすべきかという道筋を明らかにすることで、
目の前の経営課題や今後の取組等について意識共有ができ、
スムーズな事業承継が可能となります。

対象	京都府内の小規模事業者及び中小企業で親族内承継を予定・検討している方 親族内承継を実施したが、資産・株式の移転など実質的な引継ぎがまだの方
内容	専門家のサポートにより、経営者と後継者が一緒に事業承継計画を作成 ※3回程度の専門家派遣で完成を目指します(最多で5回までの派遣)
料金	無料 (専門家への謝礼、交通費とも)
日時	原則、平日9時30分～16時(土日祝、時間外については要相談)
申込み	利用申込書に必要事項を記入の上、FAXもしくはE-mailで送付ください

利用申込書

FAX 075-353-7121

会社・ 団体名			現状・課題・要望 ----- ----- ----- ----- -----
ふりがな ご芳名		ご役職	
連絡方法	<input type="checkbox"/> 事業所TEL <input type="checkbox"/> 携帯TEL <input type="checkbox"/> メール (いずれかにチェックして下さい)		
事業所 TEL		携帯 TEL	
事業所 FAX		メール アドレス	

専門家派遣の実施については、御社の状況をヒアリングしたうえで、当センターから連絡させていただきます。

- ご記入いただいた情報や実施内容は、京都商工会議所、京都府事業承継・引継ぎ支援センター、公益財団法人京都産業21、経済産業省、独立行政法人中小企業基盤整備機構と共有します。
- ご依頼内容によっては、ご希望にお応えできない場合がありますのでご了承ください

問い合わせ

〒600-8565 京都市下京区四条通室町東入 京都経済センター7階 京都商工会議所 中小企業支援部内

京都府事業承継・引継ぎ支援センター

TEL:075-353-7120 FAX:075-353-7121 sjb@kyo.or.jp